

本気になれば何かが変わる

具志堅幸司さんが本校で講演

1月11日(金)

職場・学校訪問

1年生

1月30日(水)

具志堅さんは1984年ロサンゼルスオリンピック体操の金メダリストです。体操をはじめるきっかけから現役時代のケガとの闘い、モスクワ五輪のボイコット、そしてロス五輪での金メダルに至る競技人生を話されました。生徒たちが生まれる前の金メダル獲得の映像ではありませんでしたが、本人を目の前にして、臨場感あふれる体験談となりました。



質問に答える具志堅さん



演壇の前で熱く語る

また、愛弟子で昨年のロンドン五輪での内村航平選手の金メダルまでの軌跡についても貴重なエピソードの数々を聞くことができました。「常に目標を持ってピンチをチャンスに変える気持ちを持ち続ける」人生の指針を受け取り、元気をもらいました。(南日本新聞1.16に掲載)

今後の進路選択に役立てるため、大学・短大・専門学校・企業の4コースに分かれてそれぞれの実験を体験しました。大学・短大では施設見学、カリキュラム、進路先などの説明を受け、専門学校では実習も体験させてもらいました。企業では、働く様子を間近に見学し、働くことの大切さを学びました。進路目標を定める一助になればと期待します。



患者(人形)に聴診器を当てる実習

3年生が語る

先輩による進路講話

2月12日(火)

進路先が決まった3年生が、どのようにして自分の進路を決定していったのか、3年間の集大成としてその経験を1・2年生の前に話してくれました。授業をしっかりとし、服装指導は厳しいけれど良かった、面接ノート等しっかり作る、面接練習を何回も、小論文は早めになど、8人が口をそろえて後輩たちにアドバイスしていました。



先輩の具体的な体験談

<主な進学先>

鹿児島国際大 九州産業大 志学館大 西日本工業大 鹿児島女子短大 鹿児島純心女子短大 鹿児島県立農業大学校 KCS鹿児島情報専門学校 鹿児島医療福祉専門学校 鹿児島医療技術専門学校 鹿児島動物専門学校 鹿児島美容専門学校 鹿児島第一医療リハビリ専門学校 神村学園医療福祉専門学校 鹿児島情報ビジネス専門学校 第一幼児教育短大

<主な就職先>

県内：(株)指宿白水館 (株)昭栄 ニシムタコスモス薬品 (株)指宿フェニックスホテル (株)ユヤシスリゾート あいら農協 (株)全日警 鯉料理・反田 (株)霧島高原ビール (株)霧島国際ホテル (株)霧島ホテル (株)コメリ (株)九州テックランド (医法)青雲会 (株)アクトリー 田代税理士事務所
県外：(株)イトーヨーカ堂 (株)日野自動車 (株)大和川ポリマー (株)ビューティサロン モリワキ 鶴田鉄工所

社会人の話を聞こう

12月12日(水)

始良市ロータリークラブ会員の講演

社会人としてあるべき姿、なぜこの仕事に就いたのか、仕事の成功例失敗例などを話して頂きました。生徒は自分の生き方を考え、自分の進路決定に役立てて欲しいものです。



進路を選ぶために

吉留クリニックデイサービス 12月15日(土)

吹奏楽部ボランティア

クリスマスをする前にクリスマスソングなどの吹奏楽演奏やハンドベル演奏、そしてお話などで入所の方々と交流し、笑顔と拍手をもらいました。



ハンドベルでクリスマス

平和を考える 12月11日(火)

「被爆体験」を通して考える平和

北島みゆきさんは、広島市出身。爆心地から約4kmで被爆した、当時10歳の少年(父親。この1月に他界された)の被爆体験を受け継ぎ、現在は霧島在住で「平和の語り部」活動をしています。そのときの状況を映像で見せながら、「核兵器の恐怖を語りつがねば」と訴えました。その後、全員で広島へ届ける折り鶴を折り、400羽余を北島さんに預けました。生徒の一人は、「命の重みや戦争の怖さを自分も後の世代に伝えたい」と述べました。(南日本新聞12.16に掲載)



千羽鶴を折る

12.16に掲載

NO! DRUGS

12月17日(月)

薬物乱用防止教室

学校薬剤師の田中寛晃さんを招いて、薬物の乱用を戒める話をいただきました。都会でのごきごきとか、他人ごととしてではなく、「脱法ハーブ」も含めて、身近に忍び寄る「薬物」の恐怖が、ビデオも取り入れながら語られました。「少しだけ」の危険を語る



「少しだけ」の危険を語る

多読賞



末吉 由佳さん



梶 美帆さん

年間の図書貸し出しを競う多読賞は、以下の3名が選ばれ表彰されました。本が好きではないという人も図書室を利用するようになってきた、というのが今年の傾向です。

末吉 由佳さん 289冊(普1-2吉田南中)
梶 美帆さん 226冊(情2-3蒲生中)
園田 洸太くん 92冊(情3-3加治木中)

図書の寄贈

昭和46年卒同窓会から

還暦同窓会の記念として図書を寄贈してくださいました。当時の若い世代が読んだ川端康成の「伊豆の踊り子」や向田邦子の「父の詫言状」などの名作や、20世紀の各年を写真や記事で紹介した「日録20世紀」、歴史上の人物像やエピソードを紹介した「日本の人物100人」など計240冊を図書館に入れました。



46KAMON文庫の書架